

2025年9月・2026年4月入学試験

大学院創造理工学研究科修士課程

建設工学専攻

問題表紙

- ◎問題用紙が 18 ページあることを試験開始直後に確認しなさい。
◎解答用紙が 6 枚綴りが 1 組あることを試験開始直後に確認しなさい。

a. 試験科目は以下の通りである。

科目	備考
(1)構造力学 (2)コンクリート構造学（コンクリート工学を含む） (3)水理学 (4)水工学 (5)水環境工学（環境工学を含む） (6)土質力学 (7)都市・地域計画 (8)交通計画 (9)景観・デザイン	各科目 2 題ずつ，合計 18 題が出題される。

b. 前記のうち 3 科目（6 題）を解答するものとする。ただし，以下の通り各自が志望する部門に該当する科目のうち 1 科目（2 題）は必ず選択しなさい。

部門	該当する試験科目
社会基盤部門	構造力学 コンクリート構造学（コンクリート工学を含む）
環境・防災部門	水理学 水工学 水環境工学（環境工学を含む） 土質力学
計画・マネジメント部門	都市・地域計画 交通計画 景観・デザイン

- c. 全ての解答用紙の所定の欄に，受験番号，氏名，部門名，選択した科目名と問題番号を記入しなさい。
- d. 解答は解答用紙 1 枚に 1 題ずつ書きなさい。
- e. 電卓の使用を許可する。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 構造力学

問題番号

1

図-1, 図-2 に示すように, 平面トラスの節点 O に, 水平荷重 P および鉛直荷重 $2P$ が作用している。以下の(1), (2)の問いに答えよ。なお, 解答用紙には答えのみでなく, 主要な(全て記述する必要はない)解答の導出過程も記述すること。

(1) 図-1 に示す平面トラスを構成する部材について, 断面積は全ての部材が A , ヤング係数は部材 OA が $2E$, 部材 OB および部材 OC が E である。部材 OC の軸力 N_C を求めよ。ただし, 軸力は引張軸力を正とする。

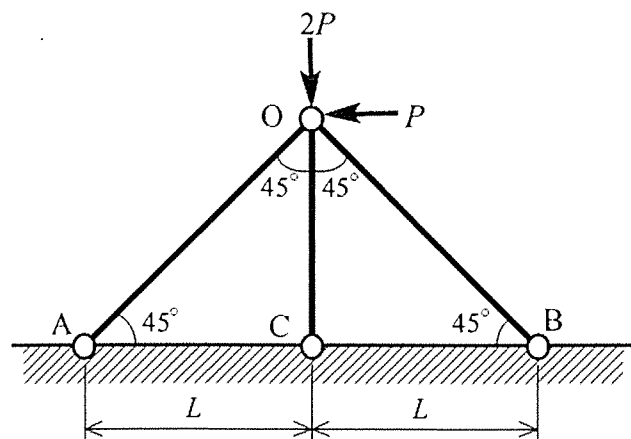


図-1

(2) 図-2 に示す平面トラスを構成する部材について, 断面積は全ての部材が A , ヤング係数は部材 OA が $2E$, 部材 OB が E である。点 O の水平変位 δ をカステリアーノの第2定理を使用して求めよ。ただし, 水平変位は左向きを正とする。また, カステリアーノの第2定理を使用したことがわかるように解答すること。

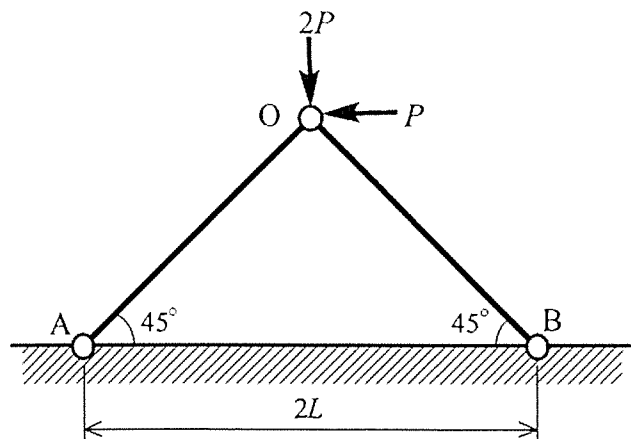


図-2

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
科目名： _____ 構造力学 _____

問題番号 2

図-1, 図-2 に示す構造物 ABCD がある。構造物 ABCD の曲げ剛性は AB 間が $2EI$, BCD 間が EI である。また, 図-3 に示すせん断力 Q , 曲げモーメント M の向きを, それぞれ正とする。以下の(1), (2)の問いに答えよ。なお, 変位の算出では, せん断力, 軸力の影響は無視できるとする。

(1) 図-1 に示す構造物 ABCD について, 以下の(a), (b)の問いに答えよ。

- (a) 曲げモーメント図 (M -図) を描け。ただし, 折れ点, 端点, 極値等, 曲げモーメント図 (M -図) の特徴を示す点については, 値, 場所がわかるように記述すること。
- (b) 点 B の鉛直変位 δ_B を求めよ。ただし, 鉛直変位は下向きを正とする。

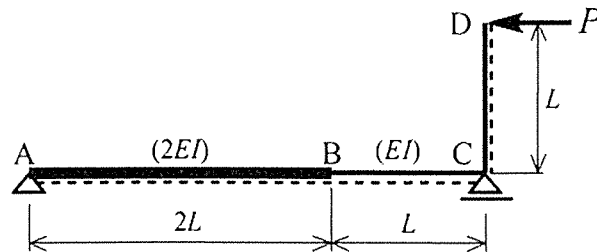


図-1

(2) 図-2 に示す構造物 ABCD について, 以下の(a)~(c)の問いに答えよ。

- (a) 支点反力 R_A , R_B , R_C を求めよ。ただし, 支点反力は図-2 に示す向きを正とする。
- (b) せん断力図 (Q -図), 曲げモーメント図 (M -図) を描け。ただし, 折れ点, 端点, 極値等, せん断力図 (Q -図), 曲げモーメント図 (M -図) の特徴を示す点については, 値, 場所がわかるように記述すること。
- (c) 点 D の水平変位 δ_D を求めよ。ただし, 水平変位は左向きを正とする。

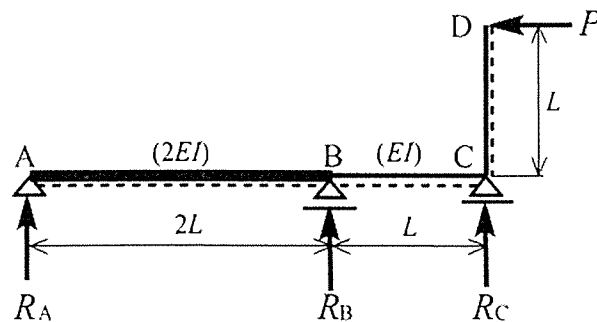


図-2

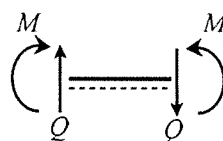


図-3

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名: コンクリート構造学 (コンクリート工学含む)

問題番号

1

1. コンクリート・セメント業界は、二酸化炭素の大量排出源のひとつであり、カーボンニュートラルの実現に向けて、抜本的な排出削減が求められている。これに関連して、以下の問いに答えなさい。

- (1) ポルトランドセメントの製造過程で、なぜ大量の二酸化炭素が排出されるのか、その主な理由を概説しなさい。
- (2) コンクリート・セメント業界において実施可能な二酸化炭素排出削減の取り組みを2つ挙げて簡潔に説明しなさい。

2. 以下の用語を簡単に解説しなさい。

- (1) クリープ
- (2) 中性化
- (3) 再生骨材
- (4) プレテンション
- (5) AE 剤

2025年9月・2026年4月入学試験問題

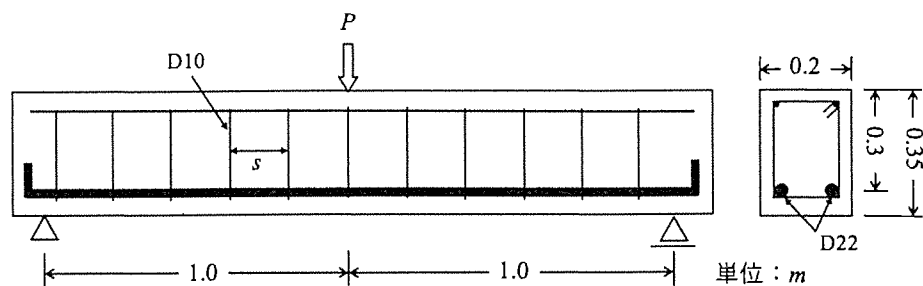
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名：コンクリート構造学（コンクリート工学を含む）

問題番号

2

下図に示す集中荷重を受ける単純支持された鉄筋コンクリートはり部材を考える。以下の問いに答えなさい。なお、自重の影響と圧縮鉄筋の影響は無視できる。



コンクリートの圧縮強度： $f'_c = 30 \text{ N/mm}^2$
 コンクリートの弾性係数： $E_c = 25000 \text{ N/mm}^2$
 鉄筋の弾性係数： $E_s = 200000 \text{ N/mm}^2$

引張鉄筋に用いたD22の断面積： $A_s = 387 \text{ mm}^2$
 せん断補強筋に用いたD10の断面積： $A_s = 71 \text{ mm}^2$
 引張鉄筋の降伏強度： $f_y = 380 \text{ N/mm}^2$
 せん断補強筋の降伏強度： $f_{wy} = 300 \text{ N/mm}^2$

1. 引張鉄筋が降伏する時の曲げモーメント M_y を求めなさい。なお、圧縮域のコンクリートの応力分布は、三角形分布を仮定して良い。
2. 終局曲げモーメント M_u を求めなさい。なお、圧縮域のコンクリートの応力分布は、等価応力ブロック ($0.85f'_c \times 0.8x$) を仮定して良い。 x は中立軸を表す。
3. 曲げ破壊を引き起こす時の荷重 P を求めなさい。また、必要なせん断補強筋の間隔 s を求めなさい。なお、せん断耐力は、次式により求めて良い。

$$V_y = V_c + V_s$$

$$V_c = 0.2 \sqrt[3]{f'_c} \sqrt[3]{100 p_s} \sqrt[4]{1000/d} B d$$

$$V_s = A_w f_{wy} z / s$$

f'_c : コンクリートの圧縮強度 (N/mm^2)

p_s : 引張鉄筋比

B : 断面幅 (mm)

d : 有効高さ (mm)

A_w : 1組のせん断補強筋の断面積 (mm^2)

f_{wy} : せん断補強筋の降伏強度 (N/mm^2)

z : アーム長 ($=d/1.15$)

s : せん断補強筋の間隔 (mm)

4. 高強度コンクリートと高強度鉄筋を使用した場合、上記1から3の答えがどのように変わるかを簡潔に説明しなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

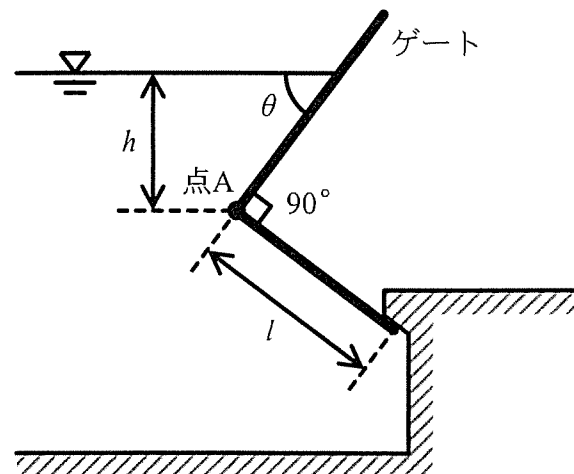
科目名： 水理学

問題番号

1

以下の問いに答えよ。重力加速度は g 、水の密度は ρ 、水の動粘性係数は ν とする。その他に解答に際し必要な物理量があり、それが問題文や図で与えられていない場合は、自ら定義すること。

- (1) 図のような L 字型のゲートにより左側の水がせきとめられている。このゲートはかたちを保ったまま、点 A を軸に時計回りにのみ回転することができる。図中の長さ l と角度 θ ($< 90^\circ$) が既知量であるとき、このゲートが回転するのは、点 A から水面までの高さ h がどのような条件を満足するときか。その条件を表す式を誘導せよ。ただし、ゲートの自重は無視できるものとする。



- (2) 円管内の水の流れを観察すると、層流と乱流という異なる特徴をもつ 2 種類の流れが存在することがわかる。これについて以下の問いに答えよ。
- (a) 円管内の水の流れに層流と乱流という 2 種類の流れが存在することを示した実験として、レイノルズが行なった実験が知られている。この実験では層流と乱流をどのような観察方法を用いて判別したか説明せよ。
- (b) 円管内の水の流れが層流であるか乱流であるかはレイノルズ数により判別することができる。レイノルズ数の定義について説明したうえで、層流と乱流の物理的な違いについて、「慣性」と「粘性」という 2 つの用語を用いて説明せよ。
- (c) 円管内の水の流れが層流である場合のある断面内での流速分布と乱流である場合のある断面内での流速分布の違いについて、数式を用いずに図と文章を用いて説明せよ。
- (d) 円管内の水の流れが層流である場合のある断面内での流速分布を表す式をどのように導くことができるかについて説明せよ。なお、具体的な数式を示す必要はない。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

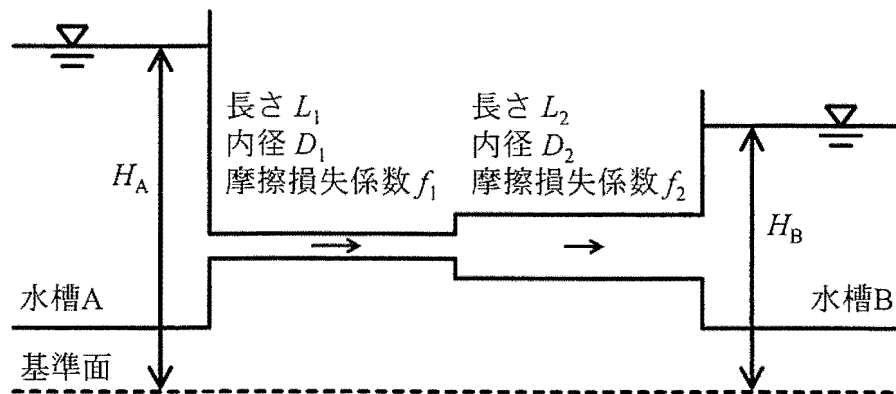
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 水理学

問題番号 2

以下の問いに答えよ。解答に際し必要な物理量があり、それが問題文や図で与えられていない場合は、自ら定義すること。

- (1) 図のように、途中で内径が大きくなる箇所（急拡部）がある円管を用いて、水槽Aから水槽Bに送水することを考える。水槽Aと水槽Bの水面の基準面からの高さはそれぞれ H_A と H_B とし、これらは変化しないものとする。2つの円管の長さ、内径、摩擦損失係数はそれぞれ図に記載のとおり、 L_1 、 D_1 、 f_1 と L_2 、 D_2 、 f_2 とする。このとき以下の問いに答えよ。
- (a) 円管の内径の急拡部における損失水頭 h_{se} を表す式を運動量の保存則を用いて誘導せよ。さらにそれを用いて、急拡部における形状損失係数 K_{se} を表す式を誘導せよ。
- (b) 円管の内径の急縮部（内径が小さくなる箇所）の場合には、(a)と同じ方法で損失水頭を求めることができない。その理由について説明せよ。説明の際には図を用いてもよい。
- (c) 水槽Aから水槽Bへ送られる水の流量 Q を表す式を誘導する方法について説明せよ。ただし、 $Q = \sim$ といったような具体的な式を示す必要はない。



- (2) 開水路の流れに関する以下の問いに答えよ。
- (a) 開水路の流れにおける等流と不等流とはそれぞれどのような状態の流れを指すのか説明せよ。
- (b) 等流の場合の断面平均流速を求める式として、マンニングの式がよく用いられる。マンニングの式に含まれるマンニングの粗度係数について、その次元を述べたうえで、その値の大きさが何によって定められるかについて説明せよ。
- (c) 長方形断面の開水路において、上流端および下流端の水位とともに、流量、水路幅、水路勾配、マンニングの粗度係数が与えられているとき、その水路に現れる不等流の水面形を決定するための基本的な手順について説明せよ。その際、「緩勾配水路」、「急勾配水路」、「支配断面」の3つの用語を必ず用いること。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 水工学

問題番号

1

大雨によって生じる浸水災害とそれへの対策に関する以下の問いに答えよ。

- (1) 大雨による浸水災害は、内水氾濫や外水氾濫によって生じる。内水氾濫と外水氾濫はそれぞれどのようなものか説明せよ。
- (2) 内水氾濫と外水氾濫のそれぞれに対して、ハード面ではどのような対策がとられているか。具体例を挙げながら説明せよ。
- (3) 我々の生活の場である都市のいくつかの特性は、大雨による浸水災害を引き起こしやすくしていると指摘することができる。都市の特性を2点とりあげて、これについて述べよ。
- (4) 現在起こりつつある環境や社会の変化を踏まえると、都市における浸水被害の軽減のためにこれから重要となる点は何か。水工学的な観点から自らの考えを述べよ。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 水工学

問題番号

2

津波災害および津波防災に関する以下の問いに答えよ。

- (1) 津波を引き起こす要因となる自然現象にはどのようなものがあるかを挙げ、それぞれの現象による津波発生メカニズムについて説明せよ。
- (2) 津波が深い海域から浅い海域へと進行する際の波高の変化について説明せよ。その際、「浅水変形」と「屈折」の2つの用語を必ず用いること。
- (3) 海の波は水深と波長の比である相対水深により、深海波、浅海波、長波に分類できる。津波はこれらのうちの波に該当するか説明したうえで、その波の物理的な特徴のうち、津波防災を考える際に重要になるとと思われるものについて2点とりあげて説明せよ。
- (4) 津波防災において、防護構造物の整備と避難インフラの整備はどのように組み合わせて進めていく必要があるか。これまでに日本で生じてきた津波災害で得られた知見を踏まえて、自らの考えを述べよ。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 水環境工学（環境工学を含む）

問題番号

1

公共用水域の環境基準に関する以下の問いに答えなさい。

- 1) 環境基準は、健康項目と生活項目に大別される。それぞれについて、説明しなさい。
- 2) 健康項目の基準値は、どのような考え方に基づいて設定されているか説明しなさい。
- 3) 生活項目の類型と基準値について説明しなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題
 大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
 科目名： 水環境工学（環境工学を含む）

問題番号 2

活性汚泥法に関する以下の問いに答えなさい。

- 図1は曝気槽と最終沈でん池を示した図である。最終沈でん池の役割について説明しなさい。
- 曝気槽に注目し、定常状態におけるBOD収支式を立てなさい。
 ここで、曝気槽は完全混合状態にあり、単位容積当りのBOD除去速度を r とする。また、図1において、 Q ：下水流量、 BOD_0 ：流入BOD濃度、 BOD ：流出BOD濃度、 R ：返送汚泥流量、 X ：活性汚泥濃度である。また、曝気槽の容積を V とする。
- BOD除去速度が式(1)で表されとする。 $BOD_0=500$ (mg L^{-1})、 $X=2,000$ (mg L^{-1})、 $V/Q=0.5$ (日)である。定常状態における流出BOD濃度を計算しなさい。

$$r = 5 \frac{BOD}{50 + BOD} X \quad (\text{mg L}^{-1} \text{日}^{-1}) \text{ あるいは } (\text{g m}^{-3} \text{日}^{-1}) \quad (1)$$

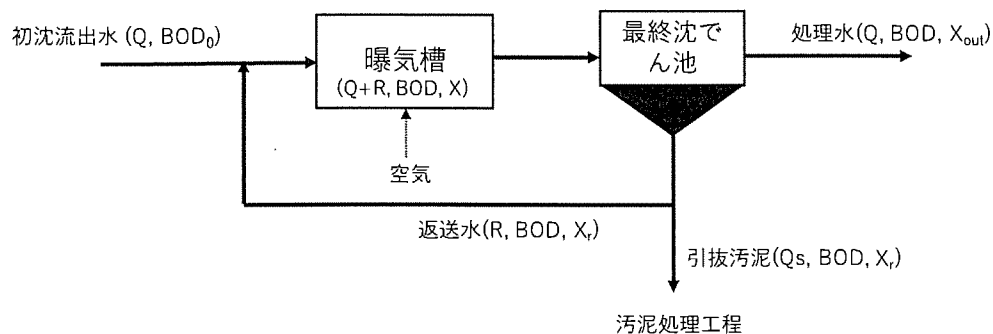


図1 活性汚泥法の曝気槽と最終沈でん池

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名: 土質力学問題番号

1

以下の土の透水および圧密に関する問いに答えなさい。

1. ある土質材料の透水係数を測定したところ、 10^{-7} m/s オーダーであった。この土質材料の予想される土質分類を答えなさい。また、上記の透水係数を測定した試験法として妥当と考えられる日本産業規格（JIS）の試験法の名称を正確に答えなさい。
2. 1. で解答した試験法の試験装置図を、模式図で描き、必要なパラメータを表示して、試験装置の諸元から、透水係数を求める数式を、誘導過程が分かるように記述しなさい。
3. 粘土の一次圧密と二次圧密の違いについて、「過剰間隙水圧」、「消散」、「有効応力」の技術用語を用いて、説明しなさい。
4. テルツァーギの一次元圧密方程式を以下の事項に注意して誘導しなさい。「土要素」を必ず描き、それに①流入・流出する水の挙動、②土要素の圧縮性、そして、③水の挙動と土要素の圧縮性の間に成立する法則を示し、これら3つの事項を定式化して、テルツァーギの一次元圧密方程式を誘導すること。
5. 層厚 4.0 m の飽和した正規圧密粘土層がある。この粘土層の上下には、十分に排水機能を有する砂層が存在している。現在、粘土層中央部において有効土被り圧 $\sigma_{v0}' = 60$ kN/m²を受け、間隙比 e_0 は、1.90 となっている。このような地盤上に盛土を建設することにより有効応力が $\Delta\sigma_v' = 40$ kN/m²だけ増加して、この粘土層は均等に圧密された。上記の状況を模式図で描くとともに、この粘土層の沈下量を求めなさい。ただし、この粘土層の圧縮指数 C_c は 0.45 である。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

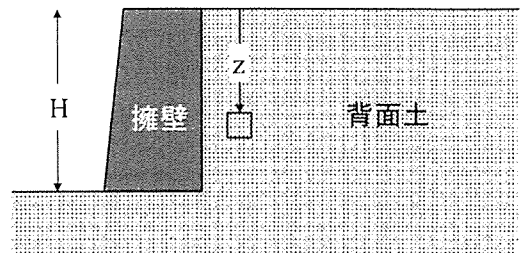
科目名：土質力学

問題番号

2

図に示す表面が水平な背面土を支える高さ $H(\text{m})$ の擁壁に作用するランキンの土圧について以下の問に答えなさい。なお、この擁壁の背面は鉛直で摩擦の無い完全に滑の状態である。また、擁壁は紙面に垂直方向に十分長く、単位奥行きあたりの部分について考えれば良い。

1. 背面土は内部摩擦角が $\varphi=45^\circ$ 、粘着力が $c=0$ 、単位体積重量が $\gamma(\text{kN/m}^3)$ の砂質土である。
 - (1) 静止土圧状態と主動土圧状態、受動土圧状態を擁壁の背面土に対する相対的な変位の方角と関連づけて説明しなさい。
 - (2) 擁壁背面の地表から深さ z の位置にある土要素について、静止土圧状態のモールの応力円を描きなさい。ここで、静止土圧係数は 0.5 であるものとする。
 - (3) 主動土圧状態のモールの応力円を描きなさい。また、モールクーロンの破壊包絡線と極の位置、および滑り線の方角も併せて示しなさい。
 - (4) ランキンの主動土圧係数 K_A を求めなさい。このとき、導出過程についても説明すること。
 - (5) 擁壁に作用する主動土圧合力を求めなさい。
 - (6) 土圧合力の着点の擁壁底面からの高さを答えなさい。
 - (7) 背面土の地盤上に層厚 $H_e(\text{m})$ の一様な厚さの盛土をした。盛土の単位体積重量が $\gamma_e(\text{kN/m}^3)$ のとき、擁壁に作用する主動土圧合力を求めなさい。
2. 次に背面土が内部摩擦角 $\varphi=0$ 、粘着力 $c(\text{kN/m}^2)$ 、単位体積重量が $\gamma(\text{kN/m}^3)$ の粘性土である場合を考える。
 - (1) 主動状態のモールの応力円を書き、モールクーロンの破壊包絡線と極の位置、および滑り線の方角も併せて示しなさい。
 - (2) 背面土の自立高さを説明、この背面土の自立高さを求めなさい。
3. 土圧問題を含む地盤の破壊問題の解法として極限定理がある。このうち上界定理と下界定理を用いて得られる解をそれぞれ上界値、下界値としたとき、それらと正解値（厳密解）との関係を説明しなさい。



2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
科目名： 都市・地域計画

問題番号

1

1. 土木計画の包括的プランニングプロセスでは、計画案の策定に際して、数理的な計画論に基づく予測や最適化以外にも、必要な議論が複数あります。そのうちの一つを挙げなさい。

2. 土木施設はスケールが大きいことから、当初想定している目的以外の様々な帰結をもたらす。そのような帰結の中で、望ましいものおよび望ましくないものを何と呼ぶかを書きなさい。

3. 態度行動変容型計画論として、土木計画の運用について以下の問いに答えなさい。

1) 社会的ジレンマを、長期的、短期的、公共的、私的、選択の言葉を使って説明しなさい。

2) 社会的ジレンマの一例をあげ、なぜ社会的ジレンマなのかを1)に従って書きなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名： 都市・地域計画

問題番号

2

1. 一体の都市として整備し、開発し、保全する必要性がある区域である都市計画区域においては、区域区分と呼ばれる制度によって土地利用に制約を課することができる。区域区分で規定される市街化調整区域と市街化区域をそれぞれ簡単に説明し、区域区分制度が導入された背景について記述しなさい。

2. 都市防災について、以下の問いに答えなさい。

1) 地域の人材を活用して火災等の初期対応に当たる組織の名称を書きなさい。

2) 地域の災害対応の方法には自助、共助、公助があるが、それぞれを簡単に説明しなさい。

3. 災害リスクは同じ自然現象であったとしても状況によって被害が異なる。被害を規定する要因である暴露量、脆弱性および対応力・回復力のそれぞれについて、河川氾濫を対象として具体的な例を説明しなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
科目名： 交通計画

問題番号

1

次世代路面電車システム（LRT）の需要予測について、以下の問いに答えなさい。

- （１）交通需要予測にはどのような手法があるか、具体的な推計手法を解説しなさい。
- （２）LRT の需要推計において、推計値に乖離が生じる原因を３つ挙げて、その理由を説明しなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
科目名： 交通計画

問題番号

2

トラックドライバーの時間外労働時間の上限が2024年から960時間に制限されたことにより、ドライバー不足などの様々な問題（物流の2024年問題）が生じている。以下の問いに答えなさい。

- （1）商取引流通と物的流通の違いをもとに、物流の2024年問題が生じた原因について解説しなさい。
- （2）現在、我が国の宅配便の約1割が再配達となっており、その削減が大きな課題である。再配達削減に向けた施策について3つ挙げて、その特徴と課題を述べなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題

大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

科目名: 景観・デザイン問題番号

1

日本で土木の分野において景観工学が誕生したのは、インフラ整備や都市開発が急速に進む高度成長期であった。そのため開発によって変貌する国土の眺めを適切なものとしていくために、操作的景観論としてまず理論化された。操作的景観論に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 操作的景観論とはどのようなものか、簡潔に説明し、その代表的モデルである景観把握モデルについて必要な語句を含む図を用いて説明しなさい。
- (2) 操作的景観論が誕生した時代とは社会情勢が大きく変化し、人口減少や脱炭素社会となった現代において、操作的景観論が依然として果たしうる役割、およびその限界とはなにか。具体的な状況を設定した上で説明しなさい。

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻
科目名： 景観・デザイン

問題番号

2

気候変動や地球環境問題への対応，および人々のウェルビーイングへの関心の高まりをうけて，自然が持つ多様な機能を賢く利用することで，持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用であるグリーンインフラの実装が各地で進んでいる。グリーンインフラに関する以下の問いに答えなさい。

- (1) グリーンインフラと類似の概念で，自然が有する多面的な機能を用いて課題を解決する考え方をなんと呼ぶか，またその適用例として雨庭以外のものをあげなさい。
- (2) 雨庭は身近なグリーンインフラとして各地で実装が進んでいる。雨庭とは何かを簡潔に説明した上で，これを街路空間に適用し，景観的にも価値を高めるためにはどのような工夫が有効か。景観を考える3つのアプローチである視覚的，身体感覚的，意味的な側面から，簡潔に論じなさい。

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

1	/	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号		科目名	
---------	--	-----	--

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

2	/	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号		科目名	
---------	--	-----	--

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

3	／	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号		科目名	
---------	--	-----	--

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

4	/	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号		科目名	
---------	--	-----	--

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

5	/	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可	選択	問題番号		科目名	

受験番号					
氏 名					
部 門 名					

※「1」と「7」、「4」と「9」は明確に区別すること

No.

6	／	6
---	---	---

採点欄

2025年9月・2026年4月入学試験問題
大学院創造理工学研究科修士課程 建設工学専攻

※裏面の使用は不可

選択 問題番号		科目名	
---------	--	-----	--